

強者の戦略

【大戦末期からすでに東西対立、そして大きな戦争の後には新たな秩序がうまれている】

ほんとに寒くなりましたね。こんにちは北林です。センター試験まであと30日ほどですから、風邪などひかぬようにしてください。

この原稿を書いているときには、いよいよ、研伸館の教室授業も12月最終週をむかえるころです。いよいよ大詰めをむかえます。冬休みの時期は、一生の内で一番勉強したというくらい、がむしゃらにやっていただきたいと思います。あ、前にも述べましたが、センター対策もなめてはいけませんからね。

それでは解説です。今回の問題はどうでしたか？

《解説》

東大の問題文は解答のヒントとなる文章が書いてあります。ヒントというのは大げさかも知れませんが、出題者がききたいことや背景がそこから読み取れることがあります。よく問題を読んで、求められていることを考えるようにしましょう。いつものように構成メモを大事にしてください。

問題文中に「第二次世界大戦は1945年に終結したが、それ以前から連合国側ではさまざまな戦後構想が練られており、これらは国際連合など新しい国際秩序の枠組みに帰結した。」

とあります。この段階で、まず大戦中の出来事として大西洋憲章などですでに戦後構想があり、数々の会談があること、戦後国際連合ができたことを思い浮かべることができます。

「しかし、国際連合の成立がただちに世界平和をもたらしたわけではなく、米ソの対立と各地の民族運動などが結びついて新たな紛争が起こっていった。」

とあります。米ソは戦争末期にともに戦いましたが、ヤルタ会談あたりから対立がはじまっています。朝鮮半島が分断されたり、ドイツが分断されたりするのも、こうした米ソを二極とする東西対立の悲劇といってもいいでしょう。東西対立の影響のありそうなところはこれに関連づけてかけそうです。

日本を降伏させるのは、アメリカの原爆、ソ連の参戦です。戦後はアメリカを中心とするGHQの支配があって、そこで様々な改革が行われ、日本国憲法ができること、などかけそうですね。

朝鮮半島は戦争末期から米ソに支配され、戦後は分断国家となります。金日成はここで使いましょう。

ヴェトナムは日本の支配の後に独立しようとし、ホーチミンはコミンテルンとも繋がり深い人ですから、ソ連の影響があります。この独立を認めようとしないフランスとの間に戦闘がはじまりますが、これがインドシナ戦争。後にアメリカがはいつてきますので、ここも東西対立の影響といってもいいでしょう。

指定語句にはヴェトナムに関連することはありません。しかし何度もいつてきましたが、論述は指定語句のみで考えてはいけません。指定語句にないことでも条件にはまるものであれば、考える必要があります。全世界を想定しなくてはなりませんよ。

強者の戦略

「たとえば、中国では抗日戦争を戦っているなかでも国民党と共産党の勢力争いが激化するなど、戦後の冷戦につながる火種が存在していた。」

戦争中は第二次国共合作、戦後はアメリカの仲介にも関わらず内戦が勃発、中華人民共和国が大陸に成立し、国民党は台湾に逃げます。これも東西対立と当然関連がありますね。

こうして、アジアについては少し解説を書いてみましたが、ヨーロッパではどうでしょうか。ここからはみなさん考えてみてください。

ちなみに、今回の場合、私が構成のメモをつくるならば

例

第二次世界大戦中に生じた出来事	いかなる形で 1950 年代までの世界のありかたに影響を与えたのか

こんな感じで表をつくって整理して考えます。変化の問題と同じように考えることができますね。

では、あとは、東ドイツ、アウシュヴィッツ、パレスチナ難民、という指定語句をどう使うかも考えて、ヨーロッパに関することを考えてみましょう。

以下に解答例を記しておきます。じっくり考えてみてください。

強者の戦略

《解答例》

米英首脳が大西洋憲章で示した戦後の国際機関創設の方針により、1945年10月国際連合が設立した。しかし戦争末期の米英とソ連の相互不信が冷戦を生んだ。アジアでは日本が米、ヤルタ協定に基づき参戦したソ連に敗れた。米占領下で戦力放棄の日本国憲法が作られたが自衛隊が発足、西側陣営に属した。日本支配下にあった朝鮮は、ソ連の支援で金日成が1948年に北に朝鮮民主主義人民共和国を、米の支援で李承晩が南に大韓民国を建て、朝鮮戦争へて南北分断が決定的となった。中国では大戦中も対立していた国民党・共産党が戦後に再び内戦、共産党が中華人民共和国を建設、国民党は台湾に移り米と結んだ。ヴェトナムではヴェトナムの活動が反仏運動になり、インドシナ戦争で仏は撤退した。ヨーロッパでは西から米英、東からソがドイツに侵攻したが、東欧はソ連の影響下におかれ、西ドイツと東ドイツという分断国家も生み出した。独仏対立への反省から戦後に ECSC が成立、これが EEC へと発展した。大戦中 アウシュヴィッツ などのユダヤ迫害を背景に多くのユダヤ人が中東へ渡り、戦後国連のパレスチナ分割案によりイスラエル共和国建国、アラブ側とパレスチナ戦争が勃発、多数の パレスチナ難民 を生み出した。(510字)